

【 新規事業について 】

○ 「りんごの棚」 の設置

峰山図書館に「りんごの棚」を設置（令和4年9月～）

「りんごの棚」とは

読書が困難なすべての人たちに、読書のよろこびを体験してほしいという願いから、スウェーデンで始まったとりくみ。点字本やLLブック、手話の本など、読みやすさやバリアフリーに配慮した本を集めた棚を開設。

「りんごの棚」の名前は、言語障がいのある子どもたちのためにつくられた、おもちゃのりんごが由来。

・点字本

点字の本は、触って読む文字（点字）で書かれた本。図形や絵に凹凸が付いていて、指先で触れて形などを確かめられるものもある。

・LLブック

やさしく書かれた本。
かんたんな言葉や絵文字、写真などで読みやすいように工夫されている。

・大活字本

小さい字だと見えにくい人、読みづらい人のために、大きな字で書かれた本。

*峰山図書館「りんごの棚」 資料数 57点

・点字本 27点（内紙芝居4点）、LLブック13点 ほか手話に関する図書など17点
〔・大活字本 185点 （市立図書館 563点）〕



- 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（「読書バリアフリー法」）
2019年6月成立
障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて、文字・活字文化の
恵沢を享受することができる社会の実現に寄与

- 京都府立図書館事業
 - ・ りんごの棚設置（2022年6月）

 - ・ 電子書籍、オーディオブックサービス（2022年4月30日から）